



たかずやの里通信

令和3年度 - 第2号 -

…発行日…
令和3年9月1日
…発行人…

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8

TEL 0265-72-6456

FAX 0265-72-7607

ホームページ

QRコード ⇒



URL www.janis.or.jp/users/takazuya03/

ふれあいまつりは今年も中止

といたします

新型コロナウイルスの感染拡大の状況から、10月に予定していた「たかずやふれあいまつり」を中止といたします。

コロナの早期収束を願い、地域の皆さまとの交流ができますことを楽しみにしております。

ふれあいの森に木製看板を設置しました

旧たかずやの里の跡地は、「ふれあいの森」として、たかずやの子どもたちが野趣に富む森林体験を積む場所として利用しています。

今年の夏は、ユニットごとにバーベキューを楽しみました。コロナ禍にあって、子どもたちは、海やテーマパークにも行けず、少々ストレスが溜まっていましたが、ここでしっかり発散することができました。

地域の皆さんにも開放していますので、是非ご利用ください。



「じゃがいも掘り」

8月5日、30人の子どもと職員で、5月に植えたじゃがいもを掘りました。気温30度を超える炎天下、2歳の子どもの、くまのプーさんのようなへんてこなじゃがいもを掘りだして、大喜びでした。



収穫したじゃがいもで ポテトグラタンを作りました

- ・マッシュポテトに
- ・チーズをのせて
- ・オーブンで焼く
(トースターでも可)



- 戦災孤児と児童養護施設 -

8月は終戦に関係する報道がたくさんみられます。児童養護施設の歴史にとって終戦直後は重要な時期です。それは当時、多くの戦災孤児を児童養護施設が受け入れ、施設数が急増したのも、この頃だからです。

食糧等の物資が不足し当時の方々の献身的な努力により施設運営がなされていました。

現在では施設の制度そのものが整備され、社会的支援も充実してきました。子どもたちを取り巻く状況や施設の形態も時代と共に変化していますが、児童養護の社会的責任に変わりはありません。今後とも社会に貢献できる施設でありたいと思います。

施設長 菅 雄峰



たかずやの日々



ありがとうございます

たかずやの里が現在の地に移転して、8年目になります。昨年は、地元企業の皆様からご寄付をいただき四阿（あずまや）や、滑り台、おやまクライミングなどの遊具を設置しました。また、敷地内のバラの手入れや花壇づくりなど、地域の皆様のボランティア活動によって、美しい環境が整ってまいりました。皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちも元気いっぱい園庭で遊んでいます。



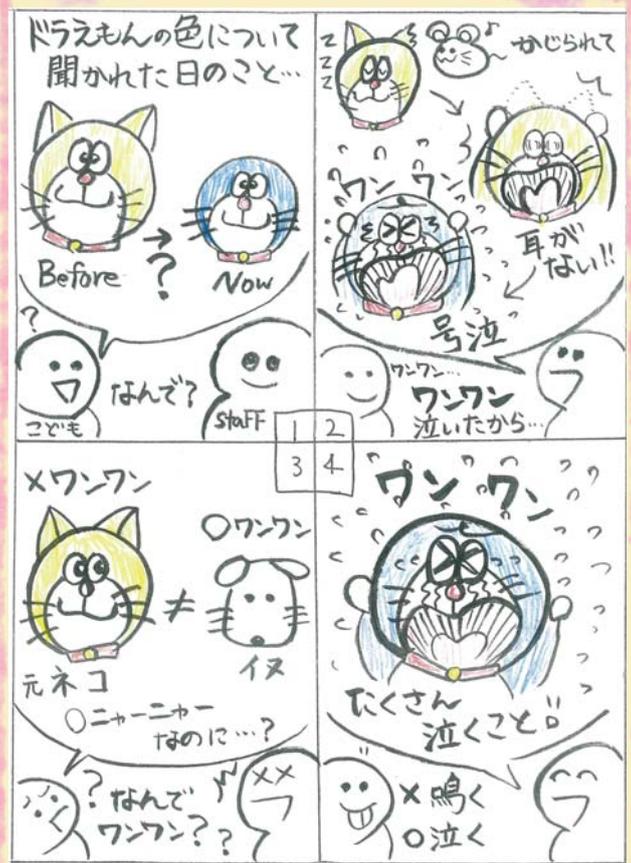
ちいさな子どもたちもそれぞれの願いを短冊に書きました。



浴衣も楽しみました。



ほのぼの **6** 才児！



施設紹介動画をご覧くださいませ。

<https://takazuyanotosato.wixsite.com/recruit/施設紹介動画>

QRコード ⇒



児童養護施設の一日

「おはよう」のあいさつで一日が始まり、朝ごはんを食べて、歯磨きをしたら、「行ってきます」と学校や保育園へ登校、登園します。学校が終われば、クラブ活動をしたり、スポーツ少年団に行ったり、友達と遊びに出かけたり、宿題や読書をする子もいます。温かくておいしい夕食を食べ、楽しい時間を過ごしたら、「おやすみなさい」と温かい布団で眠りにつきます。子ども達がどこの家庭にもある何気ない日常を過ごせることが日々の願いです。